

頻出分野・テーマはコレだ!

看護師国試は、各出題分野から均等に出題されるわけではありません。240問中30問以上出題される分野もあれば、1問も出ない分野もあります。つまり、**出題されやすい分野（高配点の分野）を把握して対策を練ることが、効率的な国試対策の進め方**なのです。

では、実際によく出題される分野・テーマは何なのか、第99～107回の国試分析結果をもとにみてみましょう（各分野の正式名称は、下の表をご参照ください）。

はじめに

各グラフに記載している分野名は、小社書籍『看護師・看護学生のためのレビューブック』の26分野（右表）に準拠しています。

略称	分野名
医	基礎医学
基	基礎看護学
成	成人看護学総論
A	消化管疾患
B	肝・胆・膵疾患
C	循環器疾患
D	内分泌・代謝疾患
E	腎・泌尿器疾患

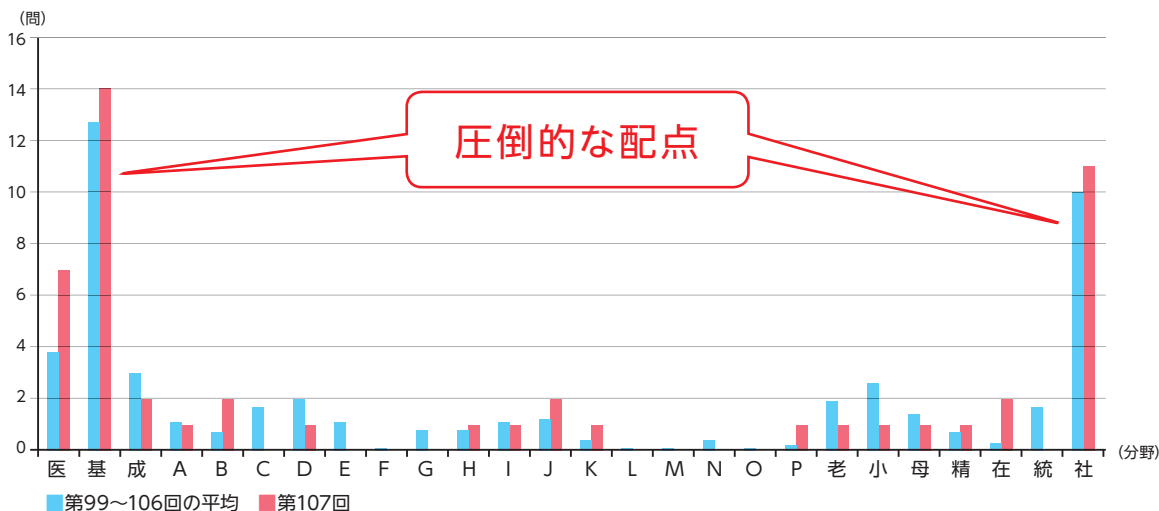
F	免疫・アレルギー性疾患／膠原病
G	血液・造血器疾患
H	感染症
I	呼吸器疾患
J	脳・神経疾患
K	運動器疾患
L	眼疾患
M	耳鼻咽喉疾患
N	歯・口腔疾患

O	皮膚疾患
P	女性生殖器疾患
老	老年看護学
小	小児看護学
母	母性看護学
精	精神看護学
在	在宅看護論
統	看護の統合と実践
社	健康支援と社会保障制度

必修問題の分野別出題数

ここに注目!

- 第107回国試において「基礎看護学」と「健康支援と社会保障制度」の分野は**全体の約50%**を占める圧倒的な配点を示しています。
- 多少のブレはありますが、過去平均と比較しても**出題傾向はほぼ変わっていません**。



必修において最も重要な分野は、「**基礎看護学**」と「**健康支援と社会保障制度**」だということが顕著に現れていますね。次に、それらの分野のなかでは何がよく問われているのか詳しく見てみましょう。



□ 「基礎看護学」と「健康支援と社会保障制度」の頻出テーマランキング

過去10回（出題基準が大きく変更された第99回から第107回、第103回追試を含む）の必修問題における頻出テーマ・出題数のランキングです。

○ 基礎看護学

順位	テーマ (RBコード※)	出題数
1位	輸液	7問
1位	医の倫理／看護の倫理	7問
1位	酸素療法	7問
4位	吸引	6問
4位	電法	6問
4位	マズローの欲求段階説	6問
4位	浣腸	6問
8位	注射 (皮内・皮下・筋肉内・静脈内)	5問
8位	コミュニケーション	5問
8位	経腸栄養法 (経鼻経管／胃瘻・腸瘻)	5問
8位	採血	5問
8位	褥瘡	5問

※RBコードは、メディックメディア独自の国試分析基準で、レビューブック (RB) の目次と対応しています。

○ 健康支援と社会保障制度

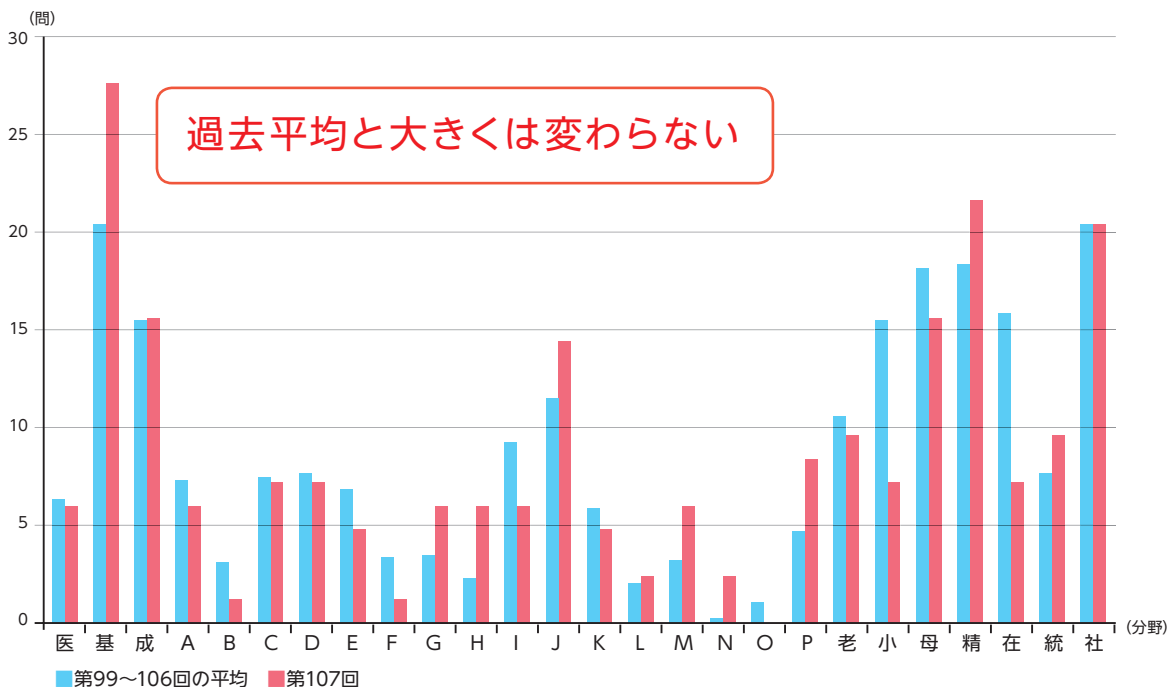
順位	テーマ (RBコード)	出題数
1位	介護保険制度の概要	10問
2位	保健師助産師看護師法	8問
3位	医療保険制度の概要	7問
4位	国民健康・栄養調査	6問
5位	人口構成	5問
5位	世帯構造	5問
5位	死因／死因別死亡統計	5問
5位	平均寿命	5問
5位	医療法	5問

さらに詳しい情報については、弊社WEBサービス「クエスチョン・バスケット」上で公開予定です。詳しくは、p.51をご覧ください。

一般・状況設定問題の分野別出題数

ここに注目!

- 第107回国試において「基礎看護学」「精神看護学」「健康支援と社会保障制度」「成人看護学」「母性看護学」「脳・神経疾患」の順で配点が高くなっております。
- 第107回では、頻出分野のうち、いくつかの分野で出題数が半減するなどの変化はありましたが、全体的にはこれまでと大きく変わらない結果となりました（下表および次ページ表）。つまり、**国試で出題頻度の高い分野はある程度決まっている**といえます。



□ 一般・状況設定問題 分野別の出題数ランキング (190問中)

	第99回～106回	第107回
1位	基 (17問)	基 (23問)
2位	社 (17問)	精 (18問)
3位	精 (15.3問)	社 (17問)
4位	母 (15.1問)	成 (13問)
5位	在 (13.2問)	母 (13問)
6位	成 (12.9問)	J (12問)
7位	小 (12.9問)	老 (8問)
8位	J (9.6問)	統 (8問)
9位	老 (8.8問)	P (7問)
10位	I (7.7問)	C (6問)
11位	D (6.4問)	D (6問)
12位	統 (6.4問)	小 (6問)

分野別の出題数ランキングをみてみると、順位は多少前後していますが、よく問われている分野はおおむね同じです。次に、それらの分野のなかでも特に問われやすいテーマをみてみましょう。



□ 主な分野ごとの頻出テーマランキング

過去10回(出題基準が大きく変更された第99回から第107回、第103回追試を含む)の一般・状況設定問題における頻出分野・テーマ・出題数は以下のとおりです。過去に15問以上問われている「産褥の経過」「統合失調症」「継続看護」などを始め、出題頻度の高いテーマは今後も出題が予想されます。

○ 健康支援と社会保障制度

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	精神保健福祉法	11問	3問	14問
2位	地域密着型サービス	7問	1問	8問
3位	医療法	7問	0問	7問
4位	労働基準法	6問	0問	6問
4位	施設サービス	5問	1問	6問
4位	DV防止法	5問	1問	6問
7位	社会保障制度の概要	5問	0問	5問
7位	介護保険制度の概要	5問	0問	5問
7位	予防接種法	5問	0問	5問

○ 母性看護学

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	産褥の経過	3問	12問	15問
2位	新生児の生理	3問	9問	12問
3位	母乳栄養/授乳	4問	4問	8問
4位	新生児の看護	4問	3問	7問
4位	妊娠に伴う母体の変化	3問	4問	7問
6位	低出生体重児	4問	2問	6問
7位	妊婦の保健指導	3問	2問	5問
7位	分娩経過	3問	2問	5問
7位	分娩第1期	3問	2問	5問

○ 基礎看護学

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	コミュニケーション	9問	2問	11問
2位	褥瘡	4問	6問	10問
3位	看護過程	7問	2問	9問
4位	患者の移動・移送	4問	4問	8問
5位	消毒/滅菌	7問	0問	7問
5位	基本的な体位	7問	0問	7問
5位	誤嚥リスクのある患者の食事介助	5問	2問	7問

○ 精神看護学

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	統合失調症	3問	13問	16問
2位	精神疾患患者の家族支援	1問	13問	14問
3位	精神疾患患者とのかかわり方	8問	4問	12問
4位	アルコール依存症	2問	6問	8問
5位	うつ病	4問	3問	7問
5位	双極性障害(躁うつ病)	1問	6問	7問
7位	防衛機制	5問	1問	6問
7位	症状マネジメント	3問	3問	6問
7位	社会復帰の支援	2問	4問	6問

○ 在宅看護論

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	継続看護	8問	12問	20問
2位	家族看護	7問	7問	14問
3位	在宅における多職種連携	5問	7問	12問
4位	終末期の在宅療養者	3問	8問	11問
5位	訪問看護の制度	10問	0問	10問
6位	療養環境	6問	2問	8問
7位	在宅での薬物療法	3問	4問	7問
8位	排泄	3問	3問	6問

○ 成人看護学総論

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	セルフケアの支援	8問	1問	9問
1位	術後患者の看護	3問	6問	9問
3位	がん疼痛コントロール	6問	2問	8問
4位	ライフサイクルにおける発達と危機	7問	0問	7問
4位	熱中症	1問	6問	7問
6位	心肺蘇生法	5問	1問	6問
6位	終末期にある患者・家族の看護	3問	3問	6問
6位	化学療法	2問	4問	6問

○ 小児看護学

順位	テーマ (RBコード)	一般	状況設定	合計
1位	疾患・障害のある小児の家族への看護	3問	9問	12問
2位	検査・処置・治療を受ける小児の看護	5問	4問	9問
3位	運動・言語・心理社会的発達	7問	1問	8問
4位	疾患や入院が小児に与える影響と看護	4問	2問	6問
5位	小児の糖尿病	1問	4問	5問
6位	成長・発達の原則	4問	0問	4問
6位	泌尿器系の発達	4問	0問	4問
6位	離乳	3問	1問	4問
6位	事故防止と安全対策	3問	1問	4問

さらに詳しい情報については、弊社WEBサービス「クエスチョン・バスケット」上で公開予定です。
ご登録いただいた教員の方には、公開の際にお知らせいたします。
詳細は以下で検索するか、p.47をご覧ください。

「頻出分野・テーマはコレだ！」のまとめ

- ① 必修問題は、「基礎看護学」「健康支援と社会保障制度」が約50%を占める
- ② 一般・状況設定問題でも高配点分野は例年ほぼ決まっている
- ③ 高配点分野のなかでも、よく問われるテーマもほぼ決まっている。例えば、在宅看護論の「継続看護」は過去10回の国試で計20問も問われている
- ④ それらとは逆に、ほとんど出題されない分野・テーマも決まっている。また、よくでる分野だからといって、すべてのテーマが等しく出題されやすいわけではない。

結論

「教科書や出題基準を最初から最後までなぞる勉強」ではなく、出題されやすい分野・テーマを意識することで、「効率的な国試対策」が可能となる。勉強を始めたばかりの学生や勉強が苦手な学生では、これらを意識して国試対策を進めることが特に必要と言える

Ⅱ 第108回 に向けた指導例

【例1】高配点分野の問題で構成したテストを作成し、学生に解かせる

⇒ 「クエスチョン・バスケット」に登録して、思いどおりの小テストを作成…p.47

【例2】国試と同じ難易度&出題割合の模試を受験させ、高配点分野の得点率、苦手分野の有無などを把握する

⇒ 国試と同じ出題割合で、復習機能つきの模試…p.2